

2011年度版

環境報告書

(2011年4月~2012年3月のまとめ)

とちぎコープ生活協同組合

理念

CO-OP ともしはぐくむくらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつのくらしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

北関東三生協（いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま）は、「環境に配慮したくらし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制および北関東三生協が受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

2010年8月31日 制定
いばらきコープ生活協同組合
専務理事 鶴長 義二

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 福田 雅彦

生活協同組合コープぐんま
専務理事 梅澤 義夫

2011年度とちぎコープ目的目標

(2011.決定)

【環境方針1】 地球温暖化につながるCO2の削減に取り組みます。			
中期的な目的目標			
目的	年度	計画数値	主要な達成手段
全体のCO2総排出量を削減します。	2011年度	4303 t (87.7%以内)	
	2012年度	4134 t (84.3%以内)	
	2013年度	4089 t (83.4%以内)	
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段
全体の電気使用量を削減します。電気の使用量を(100.7%)以内におさえる。	2011年度	100.7%以内 (目標値 8,151,041kwh)	店舗ショーケース変更 本部照明LED
	2012年度	100.0%以内 (目標値 7,935,481kwh)	運用管理 省エネ機器導入検討
	2013年度	99.1%以内 (目標値 7,864,061kwh)	運用管理 省エネ機器追加導入
目標2	年度	計画数値	主要な達成手段
宅配センターの配送車両の燃料を削減します。軽油の使用量を(101.0%)以内におさえる。	2011年度	101.0%以内 目標値 (124,367%)	エコドライブ推進 配送効率向上
	2012年度	88.3%以内 目標値 (108,732%)	BDF車両導入検討 エコドライブ推進 配送効率向上
	2013年度	80.9%以内 目標値 (99,651%)	BDF車両導入拡大 エコドライブ推進 配送効率向上
2011年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
電気の使用量を(100.7%)以内におさえる	省エネ機器導入検討 運用管理強化	環境管理責任者 補佐 各部門	管理部、総企、コープデリ 宅配事業部、SM事業支援、 ミニコープ支援
軽油の使用量を(101.0%)以内におさえる	エコドライブ、ポイント 間走行距離削減	環境管理責任者 補佐 コープデリ宅配 事業部長	・ポイント間走行距離前年 比1%削減 ・配送トラック燃費前年比 1%向上 (以上、コープデリ宅配事 業部部門目標)

※目的・目標の増減比は、10年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

【環境方針2】 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。				
中期的な目的目標				
目的	年度	到達状況、及び、主要な達成手段		
廃棄物の削減と再資源化をすすめます。				
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段	
事業系一般ゴミの削減をします。	2011年度	全体 1%削減 宅配 現状維持 店舗 SM 1%削減 店舗 ミニ 1%削減 本部 2.0%削減	・紙ゴミの分別徹底、 ・リサイクル(紙チラシなど)、 ・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、 ・ゴミゼロPJ	
	2012年度	全体 2%削減	前年度取り組みの反映	
	2013年度	全体 3%削減	前年度取り組みの反映	
目標2	年度	計画数値	主要な達成手段	
店舗の商品廃棄ロス率を削減します。	2011年度	店舗 (SM現状維持) 店舗 (ミニ現状維持)	・発注の精度アップ、・生産計画の精度アップ、 ・値引き商品販売切り切り実施、 ・冷蔵冷凍ケース内温度チェック徹底、 ・在庫削減	
	2012年度	SM0.9%、ミニ0.3%	前年度取り組みの反映	
	2013年度	SM0.9%、ミニ0.3%	前年度取り組みの反映	
2011年度目標				
目標	主要な達成手段		実施責任者	関連する部門
事業系一般ゴミの削減をします。	・紙ゴミの分別徹底、・リサイクル(紙チラシなど)、 ・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、 ・ゴミゼロPJ		管理部統括 事業統括 デリ宅配部長 総企統括	管理部、総企、SM事業支援、 ミニコープ支援、
店舗の商品廃棄ロス率を削減します。 店舗 (SM現状維持) 店舗 (ミニ現状維持)	・発注の精度アップ、 ・生産計画の精度アップ、 ・値引き商品販売切り切り実施、 ・冷蔵冷凍ケース内温度チェック徹底、 ・在庫削減		事業統括	SM事業支援 ミニコープ事業支援

【環境方針3】 組合員とともに環境活動を取り組みます。				
中期的な目的目標				
目的	年度	計画数値	主要な達成手段	
組合員とともに環境活動を取り組みます。	2011年度	20%増加(2,100人)		
	2012年度	25%増加(2,200人)		
	2013年度	30%増加(2,275人)		
目標	年度	計画数値	主要な達成手段	
環境活動に参加する組合員を増やします。	2011年度	20%増加 参加者目標(2,100人)	・「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取組み、 ・生産者交流(土の会、あぜ道)	
	2012年度	25%増加(2,200人)	前年度取り組みの反映	
	2013年度	30%増加(2,275人)	前年度取り組みの反映	
2011年度目標				
目標	主要な達成手段		実施責任者	関連する部門
環境活動に参加する組合員を増やします。 20%増加 参加者目標(2,100人)	・「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取組み、 ・生産者交流(土の会、あぜ道)		総合企画室統括 実行役員	総合企画室

※目的・目標の増減比は、10年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

環境方針（1） とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連提唱の「温暖化防止自主行動計画」へ参加し、2009-2011年度の行動計画を作成し、事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減に取り組みました。

とちぎコープの事業活動による二酸化炭素の排出は、電気使用由来による二酸化炭素の排出（約69%）と車両燃料由来の二酸化炭素の排出（約28%）とが、ほとんどを占める構成となっています。2010年度は、3項目を環境目標に設定して取り組みました。

2010年度の自主行動計画では、原子力発電所の停止による節電対策により電力の消費量が大幅に削減されて、二酸化炭素排出は前年度比で6.3%削減、温暖化防止自主行動計画基準年となる2005年度比では18.6%の削減となりました。

【目的】2011年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を2005年度比602トン削減します。

【2011年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4,403トン以下にします。

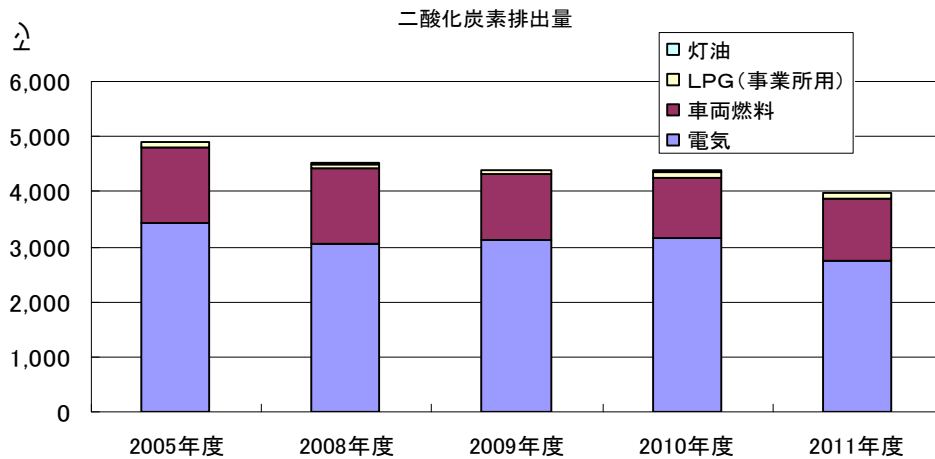
【個別目標1】電気使用由来の二酸化炭素排出を3,081トンにします。

【個別目標2】車両燃料由来の二酸化炭素排出を1,116トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	計画比	評価
全体	3,995	4,303.	92.8%	○
電気	2,760	3,081	89.6%	○
車両燃料	1,131	1,116	101.4%	×
LPG	84	90	93.3%	○
灯油	19	16	118.8%	×

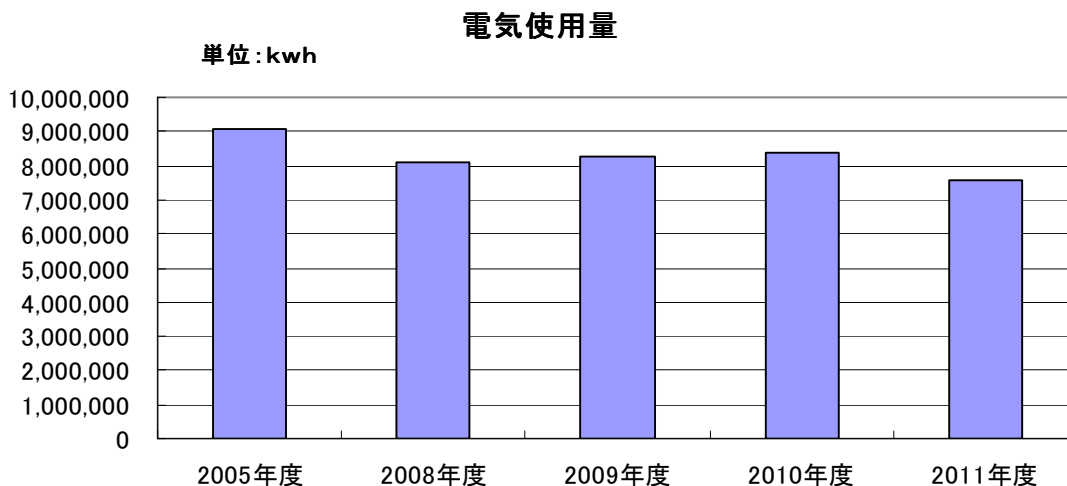
基準年2005年度からの推移 CO2（トン）

主要な排出項目	2005年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
電気	3,425	3,052	3,117	3,170	2,760
車両燃料	1,365	1,359	1,195	1,095	1,131
LPG(事業所用)	97	84	74	93	84
灯油	17	15	15	17	19
合計	4,905	4,494	4,387	4,358	3,995



○ 電氣使用量の推移

電力使用量	2005年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
単位: kwh	9,066,626	8,071,880	8,245,863	8,385,535	7,548,015

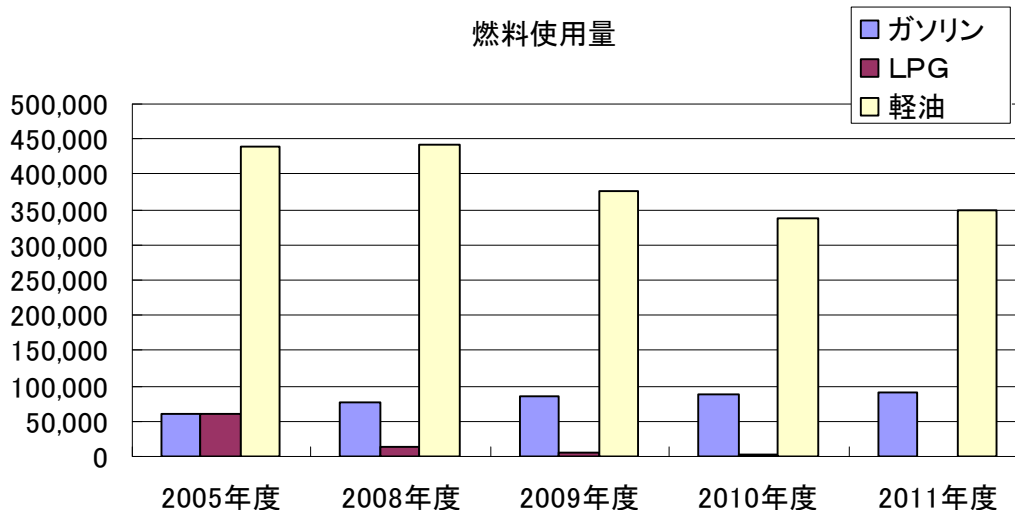


2011年度の電氣使用量は、デリ宅配センターに配達用ドライアイスの代わりとなる冷凍蓄冷剤を導入したため、その凍結庫を設置したことにより電力使用量計画値を増やしましたが、3.11 東日本大震災後の原子力発電所の停止による計画停電と夏季移行の節電対策により大幅に削減されました。

自主行動計画との関係では全体では、計画比 89.6% (前年比 90.2%)、店舗は計画比 89.0% (前年比 86.9%)、デリ宅配センターは計画比 94.3% (前年比 110.8%) でした。

○ 車両燃料の使用量推移 単位 L

燃料種別	2005年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
ガソリン	59,568	76,763	84,118	88,909	91,972
LPG	59,364	13,339	6,623	2,530	0
軽油	438,446	441,564	376,271	337,186	349,659



車両燃料の大部分は配送トラックで使用します。デリ宅配全体では、計画比 101.4%（前年比 103.2%）の実績で年間目標をオーバーしてしまいました。エコドライブの実践、配送コースの効率向上等で、車両燃料を効率よく使用するとともに、バイオディーゼル燃料の実験導入の範囲を拡大し、化石燃料に由来する二酸化炭素（温暖化防止自主行動計画や省エネルギー法等に基づく集計範囲）の排出削減をすすめました。

バイオディーゼル燃料を使用する車両は60台になりました。

とちぎコープの二酸化炭素排出量の推移

単位(トン)

年度	店舗		コープデリ宅配		全体	
	CO ₂ 排出量	2005 年度比	CO ₂ 排出量	2005 年度比	CO ₂ 排出量	2005 年度比
2005	2,948	100%	1,747	100%	4,905	100%
2006	2,734	92.7%	1,621	92.8%	4,565	93.1%
2007	2,767	93.9%	1,718	98.3%	4,726	96.4%
2008	2,571	87.2%	1,701	97.4%	4,494	91.6%
2009	2,518	85.4%	1,561	89.4%	4,278	87.2%
2010	2,560	86.8%	1,616	92.5%	4,266	87.0%
2011	2,229	75.6%	1,679	96.1%	3,995	81.4%
2012	2,331	79.1%	2,064	118.1%	4,495	91.6%

※ 2011年度までは、実績。2012年度は計画。

環境方針（２） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【２０１１年度目標】 事業系一般廃棄物を前年比１％減らします。

※（宅配１００％、SM 99.0％、ミニ 99.0％、本部 80.0％）

	実績 (Kg)	計画 (kg)	計画比	評価
全体	168,782	183,708	91.9%	○
宅配	34,517	38,210	90.3%	○
SM	107,690	115,691	93.1%	○
ミニ	25,015	28,359	88.2%	○
本部	1,560	1,448	105.7%	×

本部が目標に届きませんでした。全体では前年から９％の削減となりました。

レジ袋の削減については、SM全体で約 70％の削減となりました。ミニコープは、レジ袋を無料配布しておらず、削減率 96％を超える状況が継続していますので、目標とはせず現状の仕組みで継続した取組みを進めることとしました。SMでの「レジ袋無料配布の中止」については、おもちゃのまち店・越戸店・鶴田店で有料化実施を継続し、全店でのマイバスケットやマイバックの普及に向けた取組みをすすめました。

環境方針（３） 組合員とともに環境活動を取り組みます

【目的】 環境活動に参加する組合員を増やします。

【２０１１年度目標】 「コープみんなでエコ！今こそ節電！！」の取組み・生産者交流会等に参加する組合員数を 2100 人以上にする。

栃木県が推奨する「とちぎ発」節電アクション大作戦 1471 名、エコもりフェア 396 名、生産者交流会 341 名、合計 2208 名の参加で目標達成し無事に終了しました。またエコテックとちぎに、栃木県生協連として出展参加しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

**環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、
情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。**

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。2011年度のパフォーマンス項目の達成状況は下記のとおりです。

【環境配慮商品の普及】

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	509,609	481,781	105.8%	↑
金額（千円）	246,587	229,764	107.3%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）

**組合員さん参加のリサイクル活動、及び事業から排出する
廃棄物の発生抑制とリサイクル活動を推進します。**

従来から取り組んでいる組合員さんに協力いただいているリサイクル品については、適宜回収ルールを含めた情報提供を行い、継続してリサイクル活動に取り組みました。

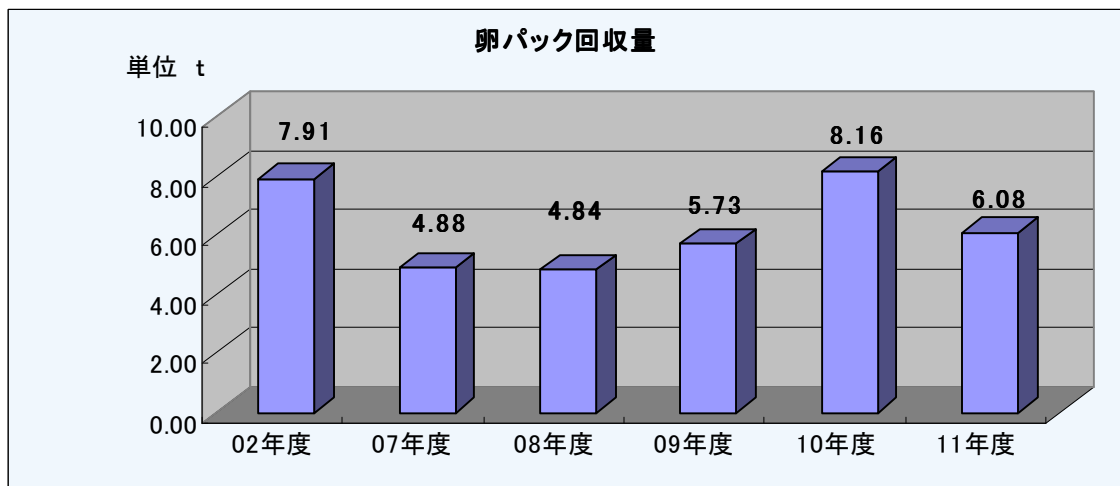
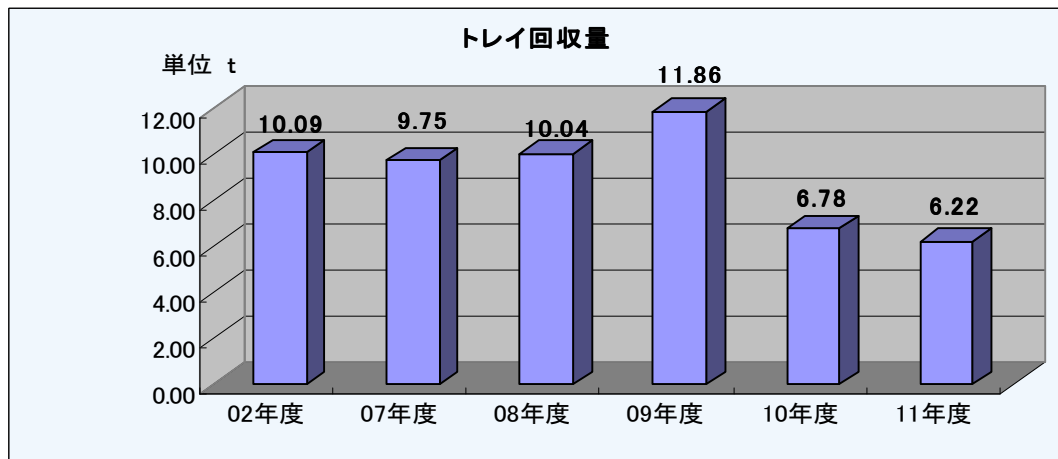
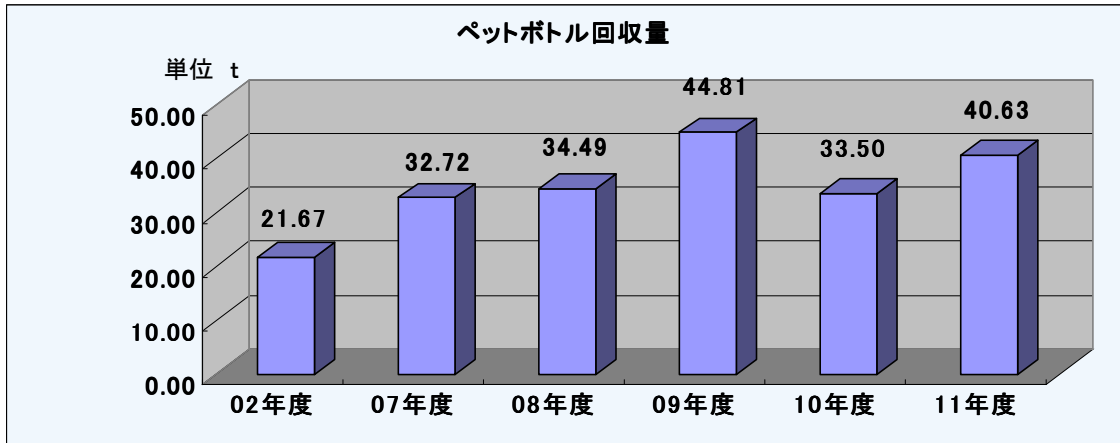
【組合員さん参加のリサイクル】

項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価
ペットボトル	40,627	33,503	121.3%	↑
トレイ	6,218	6,776	91.8%	↓
資源紙	1,472,609	1,197,659	123.0%	↑
紙パック	60,445	59,585	101.4%	↑
アルミ缶	5,465	4,376	124.9%	↑
卵パック	6,081	8,164	74.5%	↓
内袋	31,615	20,733	152.5%	↑

ペットボトル、及び、発泡スチロール製の食品トレイの回収は、2008年度から、全店舗、及び、デリ宅配（グループ配送、個別配送）で実施しています。

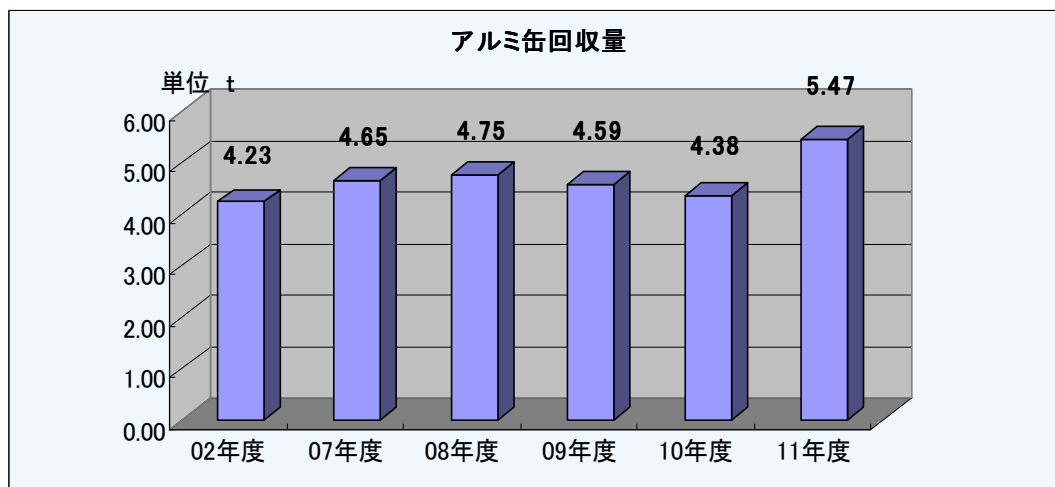
回収したペットボトルは、再生プラスチックの材料として、水切り袋など、いろいろなリサイクル製品に利用されています。食品トレイも再生プラスチックの材料として、いろいろな製品に利用されています。



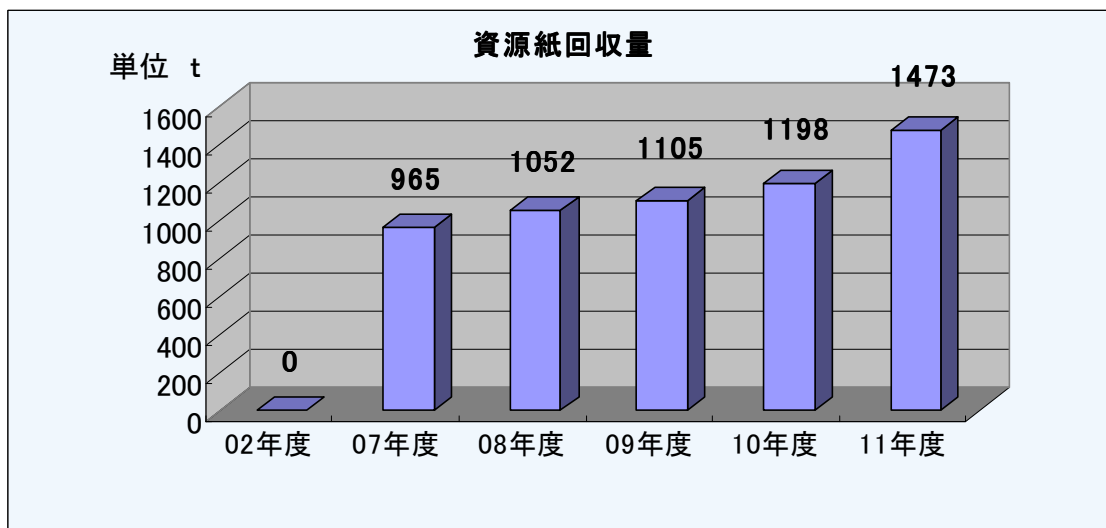


アルミ缶は、スーパーマーケット全4店舗で回収し、県内2ヶ所の共同作業所に引き取っていただいています。共同作業所では、再度分別を徹底して、アルミの再生原料と

して企業に買い取ってもらい、活動資金の一部として役立てています。

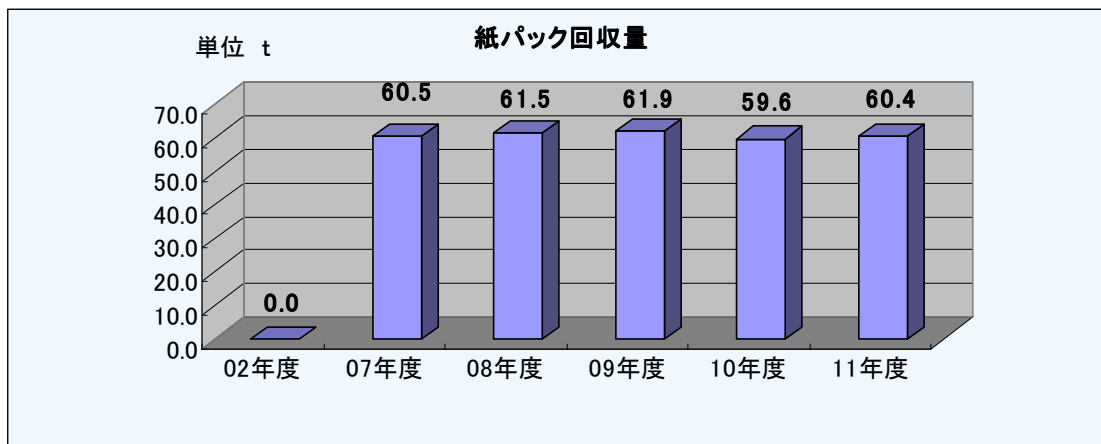


資源紙の回収の対象は、とちぎコープで配付する商品のカタログ類です。個人情報を含む紙類については、個人情報の漏えい防止に十分に配慮してリサイクルを行なっています。

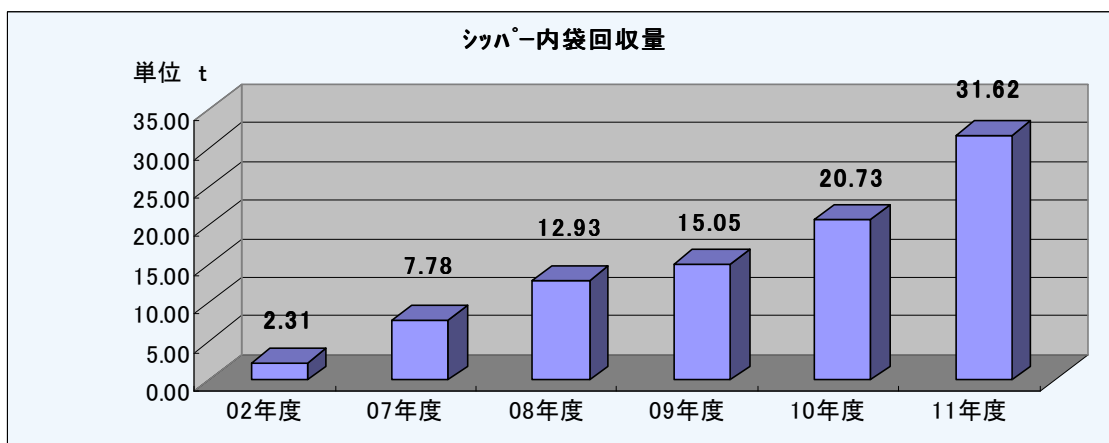


紙パックは、牛乳やコーヒー・紅茶、ジュース類などの飲料（酒類の紙容器でアルミ使用可）の紙製のパックを対象に、とちぎコープの全店舗、及び、共同購入で回収・リサイクルを実施しています。ABパックについても、2009年度途中から開始しました。未晒し

(茶色い紙) のパックについては回収していません。



シッパー内袋（共同購入で使用されている、発泡スチロール製の通い箱の中で商品を入れるために使用しているポリエチレン製の袋）は、商品の配送時に回収しています。ドライ商品にも内袋が使われるようになったため使用量も増えましたが回収量も増えました。再生プラスチックの材料として、いろいろな製品に利用されています。

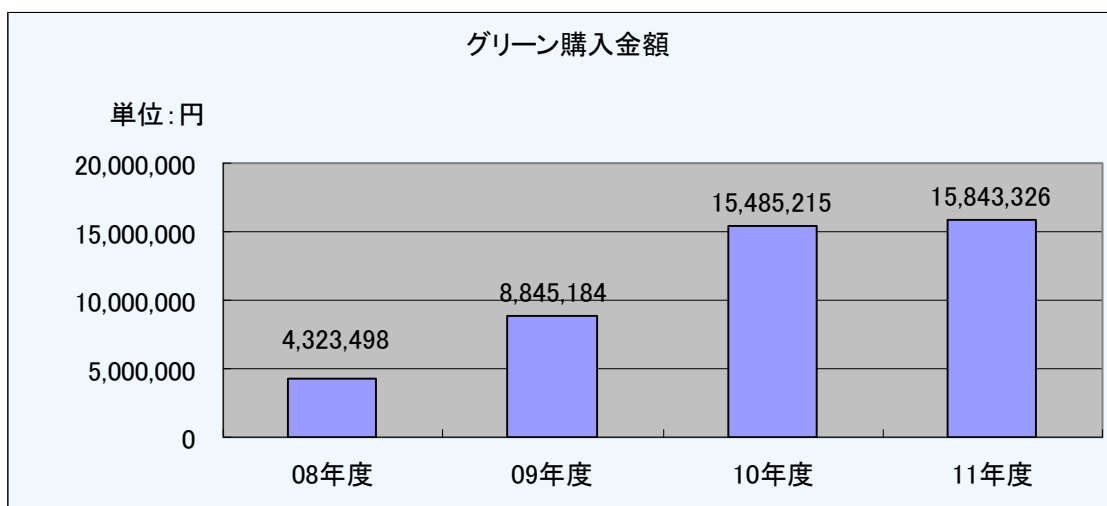


資源や資材の無駄な使用をなくし、

使用する資材は積極的にグリーン購入をすすめます。

【グリーン購入】

	2010年度	2011年度	前年比	評価
購入金額	15,485,215	15,843,326	102.3%	↑



事務用品や文具、事務所等での消耗品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

従事者の教育・訓練に関すること

とちぎコープEMSガイドブック2011年版を5月に作成し、力量評価と連動した定期教育が開始され7月度で終了をしました。

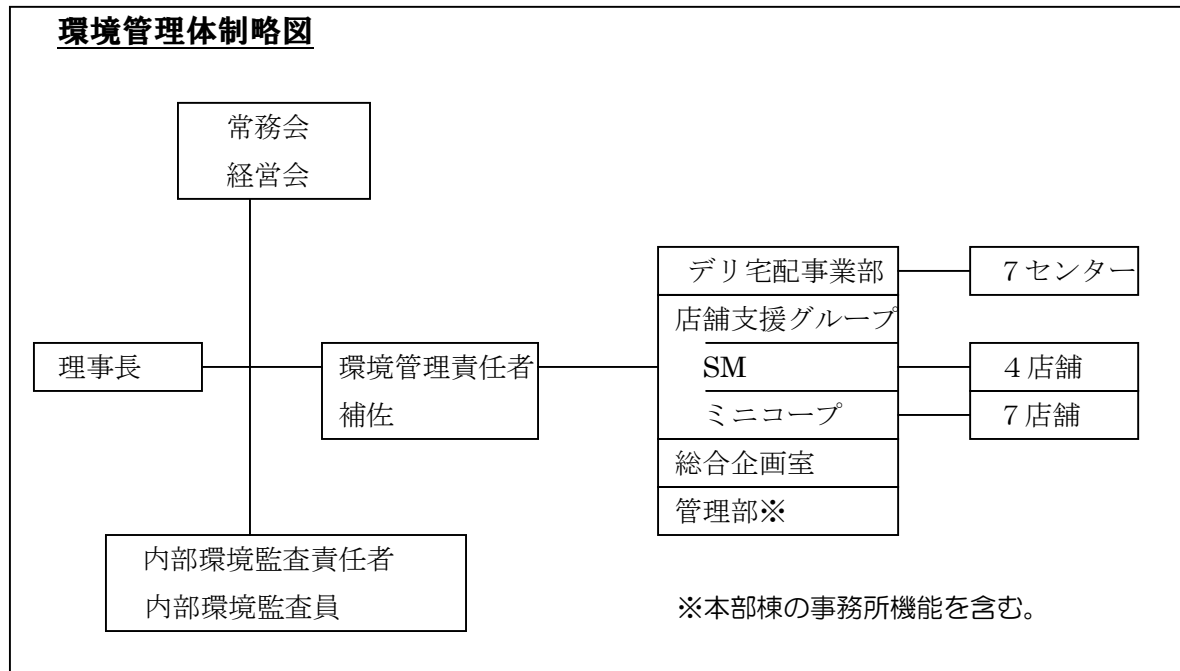


環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務のシステムの一環として推進しています。環境マネジメントの運営に関わる論議は、常務会、経営会、及び各部門の機関会議の中で行っています。

【 環境管理体制 】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



【 コミュニケーション 】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。回答については、「組合員の声」全体のデータベースの中で管理しています。

2011年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【 内部環境監査・ISO14001更新審査 】

内部環境監査

北関東三生協 EMS の統一2年目となり、昨年度に引き続き「被監査部署別監査項目一覧表」を作成し、全ての部署で、全ての実施・維持項目を監査するのではなく、サンプリングによる確実な監査を実行しました。監査員はフォローアップセミナーを受講後、チームを組んで全部門・事業所で現地監査を行ないました。また、今年度も「内部環境監査」と「個人情報保護監査」を同時に行いました。

重大な不適合は0件(±0件)、軽微な不適合が5件(-3件)、観察が22件(-4件)、推奨27件(+10件)と昨年と比較して推奨が増加しています。なお、各指摘事項54件については各々是正処置および是正項目の有効性を確認しました。

ISO14001維持審査

2003年3月に、とちぎコープとしてISO14001の認証を取得し、2009年度より北関東先生今日統一マネジメントシステムの構築のための協議を進め、2010年度下期より運用を開始しました。2011年度は、2012年2月13日～16日に、ムーディ・インターナショナル・サーティフィケーション(株)の更新審査を受け、不適合0件、観察3件、改善の機会5件の指摘があり、2012年3月20日に、2015年3月19日までの認証期間の維持が認められました。



【とちぎコープの概要】

(2012年3月現在)

理事長	片桐 雅義
組合員数	218,780人
出資金	67億670万円
事業高	250億6921万円
職員数	正規234人、定時725人(正規換算数363人)

事業所

○配送センター 7ヶ所

西那須野センター(那須塩原市)

高根沢センター(高根沢町)

今市センター(日光市)

宇都宮センター(宇都宮市)

壬生センター(壬生町)

小山センター(小山市)

足利センター(足利市)

○ミニコープ 7店舗

コープ矢板(矢板市)

コープ晃望台(鹿沼市)

コープ金井台(宇都宮市)

コープ城東(小山市)

コープ野木(野木町)

コープ富岡(佐野町)

コープ利保(足利市)

※売場面積50坪タイプの小型店

○スーパーマーケット(SM店) 4店舗

コープ越戸(宇都宮市)

コープ鶴田(宇都宮市)

コープおもちゃのまち(壬生町)

コープ栃木(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット。

○とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2012年10月1日

とちぎコープ生活協同組合

専務理事 福田 雅彦

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114